

令和 4 年度第 2 回 地球環境分科会

前回(第 1 回 10/5)行った議論・意見交換の追加意見

点線：用語解説を資料 4 に付けています。

下線太字：ご発言のうちご意見・課題に関する部分

※敬称略

■第 1 回分科会の議論に対する追加意見等

(1) 課題抽出にあたって現況等の共有

- ・ 平山：環境施策と防災対策の相乗効果が高いことから、気候変動の項目において、非常時も考慮した視点を加えられてはいかかかと思います。
- ・ 藤井：【気候変動・エネルギー】多摩市気候非常事態宣言から 2 年過ぎたが、3 つ取組み内容についての取り組み状況、市民の受け止めや行動変容など成果が市民に伝わるようにする。
- ・ 藤井：【環境学習・ESD】多摩市では ESD 活動を積極的に継続しています。その結果、子供や家庭での環境意識、行動変容などの成果が市民にも伝わるようにする。
- ・ 山下：施策の推進状況調査については、無難な目標を設定して、それを達成しているように見えるが、脱炭素を考えれば施策の目標設定の仕方を見直す必要性を感じる。
- ・ 舟橋：欠席しましたので議論の内容はわかりませんが、一般市民感覚では総論賛成、自分事としては努力に留まるという状況ではないでしょうか。

(2) 主要課題の抽出

- ・ 平山：地球環境の項目では、ニュータウンの特徴を踏まえた課題抽出の項目があった方がよいように感じました。再エネなど新規の取り組みの前に、既存の建築ストック、インフラなどへの対策検討が重要だと感じます。
- ・ 平山：また審議会でも述べましたが、多摩市単独の取り組みに加え、地域（近隣の市）や東京都との連携推進という視点で、都の助成制度の活用や普及などについても課題として挙げられてはいかかでしょうか。
- ・ 藤井：主要課題の取組みについては可能な限り定量的な（アンケート・市民の声など含む）検証により課題を抽出、要因を深堀し、改善、ブラッシュアップに繋げる仕組みを検討していく。
- ・ （舟橋）追加意見としては、公共交通の CN 化が必要ではないでしょうか。バスや輸送用大型トラックについては、電動化、特に水素の活用が現実的です。また、CO2 排出量の見える化も重要だと思います。

(3) その他

- ・ （舟橋）日本、多摩市は少子化高齢化の進行が早いため、人口減、車両保有減がほぼ確実です。環境問題についてもそれを踏まえて考えていく必要があると思います。

以上